



求荷求車情報の信用創造プラットフォーム

日本貨物運送協同組合連合会

日本貨物運送協同組合連合会（略称：「日貨協連」）はオンライン上で求荷求車情報ネットワーク「WebKIT」を展開しています。荷物の依頼側と運送側をマッチングさせるだけでなく、信用リスクや事故リスクにも対応し、良好な取引環境を提供しています。新たなビジネスチャンスを生み出す「WebKIT」の仕組みや特徴をご紹介します。

良好なエコシステム

「WebKIT」は運送事業者同士で輸送案件の情報を共有して、輸送の効率化を図る仕組みです。利用する会員は、トラック運送事業者およびその協同組合で、運送事業者は「WebKIT」を利用している協同組合に加入していることが条件です。

運送事業者の協同組合加入にあたっては、各協同組合が加入条件や信用面での厳格な審査を行い、劣悪な運送事業者をフィルタリングしています。協同組合を介した参入障壁を設けることで、良好なエコシステ

ムが維持できると会員の賛同を得ています。また、協同組合は連帯責任が色濃く反映される性格上、財務、取引、サービスに問題のある運送事業者には「WebKIT」を利用させようとする動機付けが働きます。それが取引の秩序維持にもつながっています。

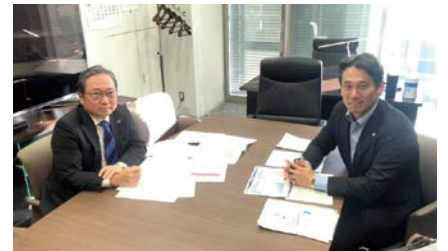
高い利便性と安心な取引

「WebKIT」の利用の流れは、まずインターネットの専用サイトにアクセスして、荷物情報や車両情報の登録や検索を行います。マッチング可能な情報を見つけたら相手先に電話

日本貨物運送協同組合連合会 概要

設立：1964年12月25日
 会長：御手洗 安
 本社：東京都新宿区四谷三丁目2番5
 全日本トラック総会館9階

WebKIT 事業について
 詳しくはこちら
<https://www.nikka-net.or.jp/business/webkit/>



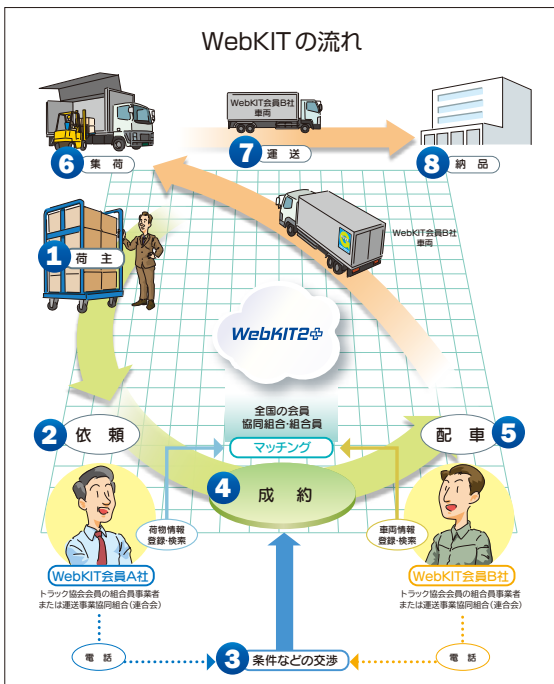
インタビューにご協力いただいた永嶋功専理事と筆者

連絡をし、詳細な条件を詰めて成約処理を行います。

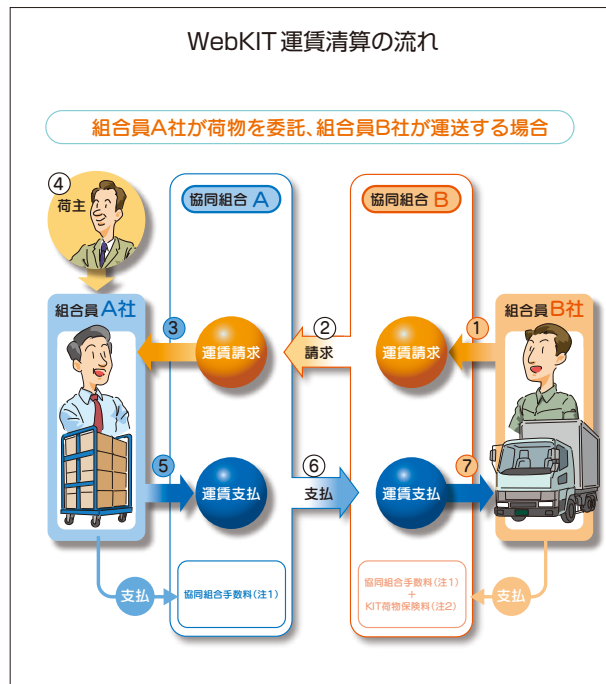
決済は個々の運送事業者同士では行わず、すべて協同組合を通じて行うため、手間や取引上の不安が軽減されます。とくに新規取引同士のマッチングの場合、求荷側には実際に運賃が支払われるのかという不安から取引成立が難しくなると思われませんが、「WebKIT」は運送事業者が所属する協同組合に運賃支払いの保証

をさせることによって新規取引同士のマッチングを成立させています。

あわせて、運賃清算の管理、取引信用保険および荷物保険の運用等のサービスも展開し、成約した案件における信用リスク、事故リスク等にも幅広く対応しています。



出所：日本貨物運送協同組合連合会 HP より転載

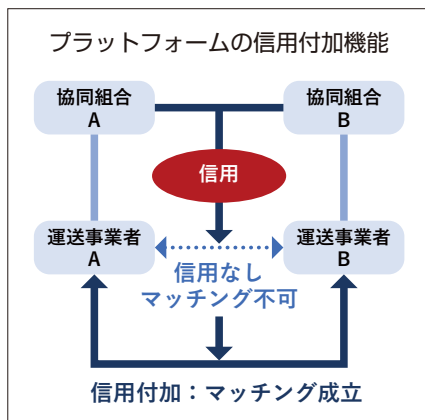


出所：日本貨物運送協同組合連合会 HP より転載

信用を付加するプラットフォーム

このようなマッチングプラットフォームにおいては、当事者双方の信用力の担保がマッチング率を大きく左右します。

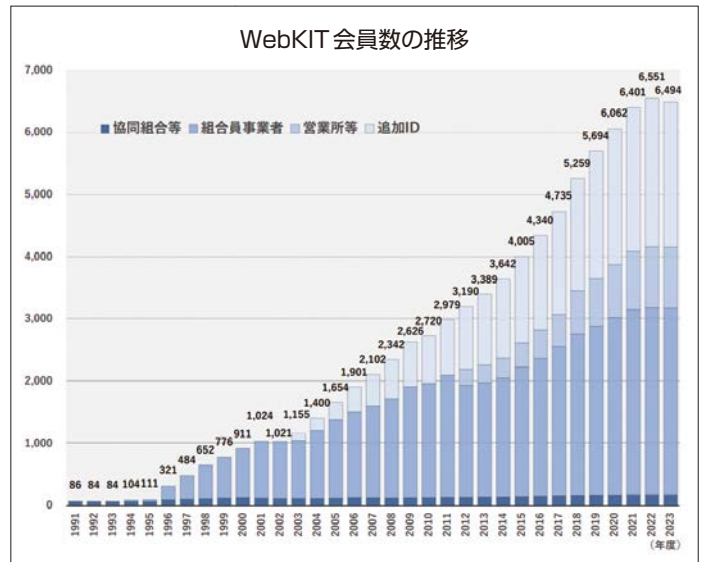
例えば、メルカリの場合、出品者の信用力は購入者の口コミです。しかし、口コミの評価だけでは複数回の取引を重ねて良い口コミをたくさん獲得する必要があり、時間的コストを要します。



「WebKIT」は利用の前提として、プラットフォーム自体に会員の信用力があらかじめ担保されているので、信用醸成までの時間的コスト削減が期待できます。本来であれば信頼関係の面から成約とならなかったであろう取引も、当事者（会員）双方に信用が

付加されていますので、取引が成立しやすくなります。

これは「プラットフォームの信用付加機能」と言えるでしょう。他社が模倣困難な地位を武器に、プラットフォームの信用付加機能によって会員同士の信用を担保にする働きかけを行い、さらに交流会や研



出所：日貨協連提供による

修会を開催することで会員同士のネットワークを強固にしています。

「WebKIT」運営元である日貨協連が直接会員拡大に努めていることに加え、各協同組合も加入者拡大に積極的に取り組んでいます。今後ますますネットワークの普及拡大に期待できるのではないのでしょうか。

元野村証券営業マン 佐久間がお勧めする活用方法

新NISAが始まります！

「貯蓄から投資へ」の流れを作るために導入されたNISA制度において、今年1月から新しいNISA制度が始まりました。皆様はNISA口座をすでに開設済みでしょうか。制度の概要をおさらいし、私がお勧めの活用方法をお伝えします。ご参考にいただければ幸いです。

新NISA制度の概要

	つみたて投資枠	併用可	成長投資枠
年間投資枠	120万円		240万円
非課税保有期間	無期限化		無期限化
非課税保有限度額（総枠）	1,800万円 ※薄価残高方式で管理（枠の再利用が可能）		
口座開設期間	恒久化		恒久化
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託（現行のつみたてNISA対象商品と同様）		上場株式・投資信託等 ①整理・監理銘柄②信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除外
対象年齢	18歳以上		18歳以上
現行制度との関係	2023年末までに現行の一般NISA及びつみたてNISA制度において投資した商品は、新しい制度の外枠で、現行制度における非課税措置を適用 ※現行制度から新しい制度へのロールオーバーは不可		

出所：金融庁HPより転載

ポイント

- つみたて投資枠と成長投資枠の2つの枠が設定されている。
- 非課税保有期間が無期限となった。

- 投資対象の拡大（成長枠では個別株式も投資可能となった）。

活用方法

まず、成長投資枠にて個別株投資を行いたいのであれば証券会社に

NISA口座を持つ必要があります。私ももちろん証券会社にNISA口座を開設しました。つみたて投資枠では大人気「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）」を毎月購入することにしました。3年ほど前から旧NISA口座で買い続けていましたが、抜群の安定性があります。ただ、「辰巳天井」というアノマリーがありますので、毎月の購入額は抑えています。成長投資枠に関しては、高配当株個別株（佐久間推奨銘柄にご興味ある方は個別にお尋ねください（笑））への投資を行っています。配当金についても非課税となるので、高配当個別株を保有することのメリットは大きいと考えています。

『金持ち父さん、貧乏父さん』（ロバート・キヨサキ著）では、お金に働かせることこそ、資産を築くために必要な要素であると説明しています。その中でも「投資」を強く勧められています。新NISAが始まったこのタイミングで「投資」を通じた資産形成を考えてみましょう。